

科目	数学A	学年	第1学年	開講	通年	必修	2 単位
----	-----	----	------	----	----	----	------

教科書：「高等学校 数学A」数研出版
副教材：「4プロセス 数学 I +A」数研出版

1 学習の到達目標

図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

- 2 学習計画及び評価方法
- a 知識技能

b 思考・判断・表現

c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点					
							a	b	c			
前期	場合の数と確率	場合の数	集合の要素の個数	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	4	中間	☐	☐	☐			
			場合の数				☐	☐	☐			
			順列				☐	☐	☐			
			組合せ				☐	☐	☐			
		確率	事象と確率	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	5		☐	☐	☐			
			確率の基本性質				☐	☐	☐			
			独立な試行と確率				☐	☐	☐			
			条件付き確率				☐	☐	☐			
	図形の性質	平面図形	期待値	平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	6		☐	☐	☐			
			三角形の辺の比				☐	☐	☐			
三角形の外心・内心・重心			☐			☐	☐					
チェバの定理・メネラウスの定理			☐			☐	☐					
前期 授業評価							☐	☐	☐			
後期	図形の性質	平面図形	円に内接する四角形	空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	9	中間	☐	☐	☐			
			円と直線				10		☐	☐	☐	
			2つの円						☐	☐	☐	
			作図				11		☐	☐	☐	
		空間図形	直線と平面						☐	☐	☐	
			空間図形と多面体						☐	☐	☐	
	数学と人間の活動		約数と倍数	さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学を用いて考察できるような力を培う。	12		1	☐	☐	☐		
			素数と素因数分解					☐	☐	☐		
			最大公約数・最小公倍数					☐	☐	☐		
			整数の割り算					☐	☐	☐		
			ユークリッドの互除法					☐	☐	☐		
			1次不定方程式					2		☐	☐	☐
			記数法							☐	☐	☐
			座標の考え方							☐	☐	☐
			ゲーム・パズルの中の数学					期末	☐	☐	☐	
後期 授業評価							☐		☐	☐		

3 評価の観点

・数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。

・事象を数学的に考察し，表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決できるかどうか。

4 評価の観点

○知識・技能：定期考查

○思考・判断・表現：定期考查・レポート

○主体的に学習に取り組む態度：ワークショップ型授業・レポート